

IL FASCINO
DELLA LIRICA vol.
オペラの魅力 38

構成・演出／岡本茂朗
舞台監督／藤井良晃(ライズ)

Ermanno Wolf-Ferrari

I Gioielli della Madonna
マドンナの宝石

日本初演・原語上演・字幕付き

ジェンナーロ	岡田尚之
マリエッタ	濱野織
ラファエーレ	岡本茂朗
カルメーラ	守屋貴美子
ステッラ	林美予子
コンチェッタ	飯田賀菜
セレーナ	宮嶋小百合
ロッコ	大倉一将
トトンノ	森拓斗

合唱	エウロ・リリカ合唱団 とよあけ児童合唱団
ピアノ	石山英明・吉井あかね
ヴァイオリン	Salvatore Piediscalzi

Ermanno Wolf-Ferrari

Violin Sonata No. 1 in G Minor, Op. 1

ヴァイオリン・ソナタ第1番ト短調 Op. 1

- I. Sostenuto - Allegro appassionato quasi presto
- II. Lento senza tempo
- III. Sostenuto - Allegro ma non troppo e con spirito

ヴァイオリン 川村優子

2024 7.23 [火] 18:00 開演 (17:30 開場)
全席自由 ¥6,000(当日券 ¥6,500)

ザコンサートホール
名古屋・伏見・電気文化会館

未就学児のご入場はご遠慮ください。都合により出演者等内容が一部変更になる場合がございますが、予めご了承ください。
主催／エウロ・リリカ www.eurolirica.com 協力／OFFICE リラン

IL FASCINO DELLA LIRICA vol.38

ヴォルフ・フェッラーリ作曲 オペラ「マドンナの宝石」

人々の思い、愛、怒り、嫉妬、思いやり、憐れみ、優しさ、全ての感情は条件反射のように、宗教的熱狂に押し流され、神への捧げ物へと変わる。

カルメーラは息子ジェンナーロが幼い頃に大病を患った為、その回復を聖母に祈り、その暁には孤児を引き取り自分の子として育てる事を誓った。そして孤児だったマリエッタが引き取られた。こうして血の繋がりのない兄妹として育ったジェンナーロとマリエッタであったが、ジェンナーロはいつしかマリエッタに恋愛感情を抱く。一方こよなく自由を愛し、奔放に生きていたマリエッタは彼を兄としてしか見ていなかった。

聖母の祭りの日、町の顔役ラファエーレがマリエッタに言い寄りジェンナーロは激しく嫉妬する。ラファエーレがマリエッタのためなら聖母の宝石を盗むこともできると大言壮語する。それを聞いていたジェンナーロは聖母の宝石を盗み出し、マリエッタに贈る。マリエッタは宝石の魅力に憑りつかれたようになり、ジェンナーロの愛を受け入れてしまう。

それを知ったラファエーレはマリエッタを罵り、町の人々も聖母の宝石を奪い身につけた罰当たり者として、マリエッタを拒絶する。絶望するマリエッタ、犯した罪の大きさに押しつぶされ聖母に許しをこらジェンナーロ…

ヴォルフ・フェッラーリ作曲 ヴァイオリンソナタ第1番 ト短調 Op.1

画家の息子として生まれた彼は、作曲作品において色彩感覚に彼独特の魅力を発揮した。シューマンやブラームスの影響を感じさせ、父方の血を受け継ぐゲルマン的なロマンティズムを身にまといつつも、イタリア人である母方から受け継いだ抒情的、官能的な面を色濃く持っている。激情と官能が交互に対話を重ねるヴォルフ・フェッラーリのヴァイオリンソナタ。



ジェンナーロ／岡田尚之



マリエッタ／濱野織



ラファエーレ／岡本茂朗



カルメーラ／守屋貴美子



ステッラ／林美予子



コンチェッタ／飯田賀菜



セレーナ／宮嶋小百合



ロッコ／大倉一将



トトンノ／森拓斗



ヴァイオリン／Salvatore Piediscalzi



ヴァイオリン／川村優子



ピアノ／石山英明



ピアノ／吉井あかね

2024 **7.23** 【火】 **ザコンサートホール**
名古屋・伏見・電気文化会館

18:00 開演 (17:30 開場)

全席自由 ¥6,000 (当日券 ¥6,500)

チケット取扱い：エウロ・リリカ www.eurolirica.com または、各出演者にお問合せください